

平成29年第4回筑紫野市議会定例会（9月）

提出議案について

平成29年第4回筑紫野市議会定例会（会期：8月29日から9月22日まで）に次の議案を提案しましたので、その内容をお知らせします。

諮問第3号	人権擁護委員の推薦につき意見を求めることについて
人権擁護委員は、人権擁護委員法第6条第1項の規定に基づき、法務大臣が委嘱することになっておりますが、市長は当該市の議会議員の選挙権を有する住民の中から、議会の意見を聴いて、候補者を推薦することになっております。つきましては、現委員であります成富清治氏が、本年12月31日をもって任期満了となり退任されますので、その後任として、鬼木寛治氏を推薦いたしたく、人権擁護委員法第6条第3項の規定により、議会の意見を求めるものです。	
諮問第4号	人権擁護委員の推薦につき意見を求めることについて
本件につきましても、現委員であります西川和義氏が本年12月31日をもって任期満了となりますので、引き続きご活躍いただきたく、人権擁護委員法第6条第3項の規定により、議会の意見を求めるものです。	
認定第1号	平成28年度筑紫野市一般会計歳入歳出決算の認定について
歳入決算額は、343億163万2千54円、これに対します歳出決算額は324億1千153万2千950円です。これを差し引きした形式収支は、18億9千9万9千104円の黒字となっております。	
認定第2号	平成28年度筑紫野市国民健康保険事業特別会計歳入歳出決算の認定について
歳入決算額は、111億6千532万5千175円、これに対します歳出決算額は111億4千436万1千799円です。これを差し引きしました形式収支は、2千96万3千376円の黒字となっております。	

認定第3号	平成28年度筑紫野市住宅新築資金等貸付事業特別会計歳入歳出決算の認定について
歳入決算額は、2千111万3千140円、これに対します歳出決算額は1千286万1千209円です。これを差し引きしました形式収支は、825万1千931円の黒字となっています。	
認定第4号	平成28年度筑紫野市奨学資金貸与事業特別会計歳入歳出決算の認定について
歳入、歳出決算額ともに641万3千474円となっています。	
認定第5号	平成28年度筑紫野市介護保険事業特別会計歳入歳出決算の認定について
歳入決算額は、59億7千428万5千695円、これに対します歳出決算額は、58億4千105万8千737円です。これを差し引きしました形式収支は1億3千322万6千958円の黒字となっています。	
認定第6号	平成28年度筑紫野市後期高齢者医療事業特別会計歳入歳出決算の認定について
歳入決算額は、21億9千13万544円、これに対します歳出決算額は、21億4千657万4千150円です。これを差し引きしました形式収支は4千355万6千394円の黒字となっています。	
認定第7号	平成28年度筑紫野市農業集落排水事業特別会計歳入歳出決算の認定について
歳入、歳出決算額ともに2億2千600万4千504円となっています。	
認定第8号	平成28年度筑紫地区障害支援区分等審査会事業特別会計歳入歳出決算の認定について
歳入、歳出決算額ともに969万641円となっています。	
認定第9号	平成28年度筑紫野市二日市財産区特別会計歳入歳出決算の認定について
歳入決算額は、336万540円、これに対します歳出決算額は、309万5千166円です。これを差し引きいたしました形式収支は、26万5千374円の黒字となっています。	

認定第10号	平成28年度筑紫野市御笠財産区特別会計歳入歳出決算の認定について
<p>歳入決算額は、925万8千585円、これに対します歳出決算額は、924万4千395円です。これを差し引きしました形式収支は、1万4千190円の黒字となっています。</p>	
認定第11号	平成28年度筑紫野市平等寺山財産区特別会計歳入歳出決算の認定について
<p>歳入、歳出決算額ともに802万780円となっています。</p> <p>なお、この財産区の決算認定については、二日市財産区は8月23日に、御笠財産区は8月22日に、平等寺山財産区は8月25日にそれぞれの管理会が開催され、同意を得ているところです。</p>	
認定第12号	平成28年度筑紫野市水道事業会計剰余金の処分及び決算の認定について
<p>平成28年度筑紫野市水道事業会計剰余金の処分については、収益的収支の決算額が、収入総額18億9千879万3千302円、支出総額16億1千829万7千25円で、損益計算書において2億8千49万6千277円の純利益が生じております。なお、当年度純利益を含む未処分利益剰余金の処分につきましては、減債積立金へ5億2千967万円、建設改良積立金へ2億2千700万1千円を、それぞれ積み立てるものでございます。また、資本的収支は、収入総額3億8千7万1千870円、支出総額9億2千451万4千93円、不足をいたします5億4千444万2千223円につきましては、損益勘定留保資金等で補填いたしております。</p>	
認定第13号	平成28年度筑紫野市下水道事業会計剰余金の処分及び決算の認定について
<p>平成28年度筑紫野市下水道事業会計剰余金の処分については、収益的収支の決算額が、収入総額21億5千631万4千711円、支出総額20億2千48万3千886円で、損益計算書において1億5千383万825円の純利益が生じております。なお、当年度純利益を含む未処分利益剰余金の処分につきましては、減債積立金へ5億4千59万2千円積み立て、資本金へ2億5千856万9千549円を組み入れるものでございます。また、資本的収支は、収入総額10億2千987万3千790円、支出総額17億2千132万2千145円、不足をいたします6億9千144万8千355円につきましては、損益勘定留保資金等で補填いたしております。</p>	

報告第10号	専決処分の承認について（損害賠償の額を定めることについて）
<p>本件は、地方自治法第179条第1項の規定により専決処分を行っておりますので、同条第3項の規定に基づき、これを報告し、承認を求めるものです。</p> <p>内容は、平成29年4月15日、午前11時頃、筑紫野市杉塚四丁目4番付近の市道において発生した、道路事故により相手方車両を損傷させたものです。この事故に伴います損害賠償額について13万8千240円で示談協議が整いましたので、平成29年7月26日付で、専決処分を行ったところです。</p>	
報告第11号	地方公共団体の財政の健全化に関する法律に基づく平成28年度筑紫野市健全化判断比率及び資金不足比率の報告について
<p>本件は、地方公共団体の財政の健全化に関する法律に基づき、平成28年度決算における健全化判断比率及び資金不足比率につきまして、監査委員の審査に付し、その意見を付けて報告するものです。</p> <p>健全化判断比率のうち、実質赤字比率につきましては標準財政規模に対する一般会計等の実質赤字額の比率です。本市におきましては、実質赤字額がないことから、「算定なし」という意味であるハイフンで記載しています。連結実質赤字比率については、この比率が標準財政規模に対する公営企業を含めた本市の全会計の実質赤字の合計額の比率であり、本市においては、すべての会計において実質収支は黒字であり、連結実質赤字額はありませぬので、実質赤字比率と同様にハイフンで記載しています。実質公債費比率については、この比率が標準財政規模を基本とした額に対する一般会計等における地方債の元利償還金及び公営企業や一部事務組合等を含む地方債の元利償還金の本市の負担額の比率であり、平成28年度の比率は6.2%、早期健全化基準の25%を下回ったものとなっています。将来負担比率については、この比率が標準財政規模を基本とした額に対する本市のすべての会計及び一部事務組合、土地開発公社などの市が設立した法人まで含めた将来負担額の比率であり、平成28年度の比率は算定結果がマイナスとなったため、ハイフンで記載しています。</p> <p>資金不足比率については、この比率は本市が経営する公営企業の事業規模に対する資金不足額の比率であり、本市の水道事業会計、下水道事業会計、農業集落排水事業 特別会計ともに資金不足はありませぬので、ハイフンで記載しています。</p>	

報告第12号**筑紫野市土地開発公社事業等の報告について**

総括について一般庶務事項としましては、平成28年度に理事会を3回開催し、6件の議案について審議がなされ、全て原案のとおり可決されたところです。役員につきましては、平成28年度の変更はありません。

事業計画の執行状況については、台帳番号64番「筑紫地区まちづくり整備事業用地」5,403㎡、台帳番号67番「市庁舎建設事業用地」14,934㎡、台帳番号68番「市道立明寺・原の下線道路改良事業用地」215㎡、及び台帳番号2003番「都市計画道路代替地用地」669㎡をそれぞれ市へ売却し、合計11億8,494万2,341円で処分しています。

財務の状況については、平成28年度は「筑紫地区まちづくり整備事業」外3事業の処分を行い、当期純利益が1,533万5,779円となり、準備金合計は3億4,237万7,970円となっています。

借入金の期末残高については、短期借入金6億1,727万2,657円、長期借入金は無く、前年度比で11億8,163万2,641円の減となっています。

公有地、代行用地、代替地の保有状況は、合計で期首残高21億1,363万5,182円に対し、当期増加高179万79円、当期減少高11億6,402万5,835円となりましたことから、平成28年度期末残高は9億5,139万9,426円となっています。

なお、平成28年度筑紫野市土地開発公社決算の監査報告につきましては、本年5月22日に監事による監査が実施され、内容は適正であることの報告を受けています。

報告第13号**公益財団法人筑紫野市文化振興財団事業等の報告について**

文化振興財団は、筑紫野市より指定管理者として指定を受け、筑紫野市文化会館の管理・運営、及び市民の文化芸術の振興に関する事業を実施しています。

文化会館の利用状況は、合計入場者数は13万1,148人、使用料が3,040万9,760円です。なお、使用料につきまして、公的使用は減免制度があり、その減免額が1,867万4,350円のため、実質の納入額は1,173万5,410円です。

公演事業の状況は、平成28年度のテーマを「感の3乗、感謝・感動・感激の輪に、さらに広がり」とし、「第10回ちくしの寄席感謝祭 立川生志*ふるさと応援*落語会」「ダンカイ・ミュージックフェスタ・テンス」などを開催しました。なお、平成28年度公演事

業の入場者率は、97.0%の入場者率となっています。

決算の状況ですが、公演事業の全てと文化会館の公益目的での貸与に関する「公益目的事業会計」、文化会館の公益目的外での貸与及び物品販売手数料の収入に関する「収益事業等会計」、財団の組織運営に関する「法人会計」の合計額とし、消費税抜額での経理になっています。経常収益合計は、8,349万2,584円であり、収入の主なものは筑紫野市からの指定管理受託収入が7,752万円です。経常費用合計は、8,089万4,335円であり、主なものは、公益目的事業会計の事業費5,238万5,475円、公演事業及び清掃等に関する委託費、人件費、施設の光熱費等です。当年度の収支となる当期経常増減額は、259万8,249円です。これに一般正味財産期末残高1,799万6,449円と指定正味財産期末残高1,500万円を加えますと3,299万6,449円となりまして、この額が財団の正味財産期末残高となるものです。

議案第47号

筑紫野市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例の制定について

本件は、「特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準」および「就学前の子どもに関する教育、保育等の総合的な提供の推進に関する法律」の改正に伴い、条例の一部を改正するものです。

議案第48号

平成29年度筑紫野市一般会計補正予算（第3号）について

補正の主な内容は、歳出予算としましては、公共施設等整備基金への積立として9億4千123万3千円。また、上古賀グラウンドの土地購入費として1億8千505万4千円、資格取得のための母子家庭自立支援事業として348万2千円などを増額するものです。これに見合いの歳入予算といたしましては、普通交付税3千951万1千円、社会資本整備総合交付金3千906万4千円を増額するものです。このため、歳入歳出予算の総額に、歳入歳出それぞれ12億6千48万1千円を追加し、歳入歳出予算の総額を歳入歳出それぞれ32億8千993万2千円とするものです。また、「債務負担行為補正」といたしましては、「追加の場合」で1件の1億435万円、一部事務組合分として3件の1億1千720万7千円を計上しています。「地方債補正」につきましては、「変更の場合」として2件の2千83万3千円を計上しています。

議案第49号	平成29年度筑紫野市国民健康保険事業特別会計補正予算（第1号）について
<p>補正の主な内容は、歳出予算としましては、予備費2千96万2千円などを増額し、これに見合いの歳入予算としましては、前年度繰越金2千96万2千円などを増額するものです。このため、歳入歳出予算の総額に、歳入歳出それぞれ1千243万4千円を追加し、歳入歳出予算の総額を歳入歳出それぞれ115億6千372万4千円とするものです。</p>	
議案第50号	平成29年度筑紫野市介護保険事業特別会計補正予算（第1号）について
<p>補正の主な内容は、歳出予算としましては、国庫支出金返還金1千884万7千円、予備費1億652万9千円などを増額するものです。これに見合いの歳入予算としまして、前年度繰越金1億3千322万6千円などを増額するものです。このため、歳入歳出予算の総額に、歳入歳出それぞれ1億4千662万4千円を追加し、歳入歳出予算の総額を歳入歳出それぞれ63億5千717万3千円とするものです。</p>	
議案第51号	平成29年度筑紫野市後期高齢者医療事業特別会計補正予算（第1号）について
<p>補正の主な内容は、歳出予算としましては、広域連合納付金4千209万2千円などを増額するものです。これに見合いの歳入予算としましては、前年度繰越金4千355万6千円を増額するものです。このため、歳入歳出予算の総額に、歳入歳出それぞれ4千355万6千円を追加し、歳入歳出予算の総額を歳入歳出それぞれ22億8千398万9千円とするものです。</p>	